

わたしたちの強み



約40年、地域の医療を支えてきた経験と信頼

整形外科クリニックとして開業し約40年、地域に密着した医療で地域を支え、患者さまのさまざまな心身のお悩みを解決してきました。

広い分野で医療をサポート

整形外科をはじめ、皮膚・美容皮膚科、リハビリテーション科、デイサービスなど幅広い分野で質の高い医療を提供。現在では、慢性的に続く痛みに対する血管内カテーテル治療や静脈瘤治療といった先端的治疗にも取り組んでいます。

経験豊富なスタッフ

様々な分野に特化した11名のセラピストと5名の医師が、それぞれの専門性を活かし、チームとして協力することで、効果的なリハビリテーションを提供します。



メッセージ

「企業の健全な成長を支えるために」 院長・整形外科専門医・産業医 / 宮田博夫

当クリニックは、開設より地域の皆様の健康を支える医療機関として歩んできました。近年はリハビリ部門の質の向上を目指し、より専門的なリハビリテーションを提供しています。2025年度からは「産業リハビリテーション」という理学療法と産業医療を融合させた新しいカタチのリハビリ活動を始めることとなりました。働く人の健康と笑顔、そして企業の健全な成長を支えるため、産業現場に寄り添いながら、健康支援活動を行っていきます。



「働くひとを笑顔に。理学療法士としてできること」 産業リハビリ統括 / 宮本大輝

従業員さま一人ひとりが持てる力を最大限発揮し、健康的に、長く働き続けられる環境を作るためには『病気になる前に防ぐ』ことが大切です。理学療法士として約10年間培った知識と経験を活かし、職場復帰のためのサービスや慢性痛・転倒の予防、環境改善まで従業員さまの笑顔が増えるようなサポートをさせていただきます。働く人たちと医療の架け橋になるよう、職員一同、努力してまいります。

無料相談・お見積り 受付中！



宮田整形外科・皮フ科



080-8217-6644
0562-46-7788

平日 9:00-19:00 担当：宮本



miyata.daycare@gmail.com



〒474-0035 愛知県大府市江端町3-76



WEB サイト

http://www.miyataseikei.com



経営者・事業主のみなさまへ

従業員の安全と健康のために

健康経営を はじめませんか？

健康経営って？
なんで必要なの。

従業員には
長く健康でいてほしい…。
どんなサポートがあるの？

身体の不調で悩む
ひとが増えている。
どうにかしたい…。



「健康経営」のはじめの一歩として、お勧めします！

産業リハビリテーション

カラダの専門家（産業理学療法士）が企業に訪問。

従業員さまの身体メンテナンスを行うことで

職場環境の改善をサポートし、生産性がUP！



宮田整形外科・皮フ科

いま求められる健康経営

現代の職場では こんな悩みが増えています ...。

身体の痛み
不調で悩む
従業員が増えてきた

労災や
怪我の予防
について相談したい



生産性があがる
職場にしたい

社員には
長く健康で
はたらいてほしい

福利厚生
を充実させて
採用にも活かしたい

そんなお悩みに

わたしたちの **産業リハビリテーション** でサポートします！

産業リハビリテーションとは

身体の専門家（理学療法士）が御社に訪問

従業員さまの心身をメンテナンスし、
「健康管理」と「労働環境の改善」をサポートします。

- 業務に起因する **健康障害を予防**
- 従業員さまの **パフォーマンス向上に寄与**

2つの予防に特化した産業リハビリテーション

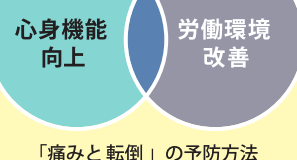
私たちは理学療法士の専門性を活かした、2つの予防に重点をおきながら、「健康管理」と「労働環境の改善」を図ります。そうすることで従業員さまの心身機能が向上し、「痛み」と「転倒」を予防することができます。 ※詳しくは P6 へ



痛み（慢性痛）の予防



転倒の予防



「痛みと転倒」の予防方法

わたしたち
理学療法士が
サポートします



Point
01

健康経営とは

従業員の健康管理を **経営戦略** の一環として捉え、積極的に推進する考え方
単なる福利厚生ではなく、企業の持続的な **成長のための投資** として位置付け

出所：経済産業省「健康経営」冒頭を要約

近年では「少子高齢化による人手不足」や「社会保障費増大」といった背景から、企業価値の向上や持続的な成長のための重要な経営手法として注目されています。

従業員の
健康
重要な
経営資源

Point
02

産業リハビリのメリット

従業員の健康づくりに取り組むことで **企業の業績や価値の向上** が期待されます！

生産性向上

- 従業員の健康状態の改善
- モチベーションの向上
- 業務効率の向上

リスクマネジメント

- 事故・労災発生の予防
- 離職率の低下
- コスト削減（労災件数減少）

イメージアップ

- ブランド価値の向上
- 健康経営の資格獲得
- 福利厚生の充実

今いる従業員を守るだけでなく、**新たな人材獲得**にもつながります。

Point
03

従業員が「心身の不調を抱えて働く」経済損失

「不調を抱えた状態」で働く社員は、欠勤している社員よりも **コストがかかっている**



出所：経済産業省「予防・健康づくりの意義と課題」資料 2 を基に作成（2019）
出所：横浜市「労働生産性損失は年間 76.6 万円 健康リスクと労働生産性損失の関係が明らかに！」（2018）

「従業員の不調」は企業にとっても大きな損失 ...。

御社に合わせた最適なプランでサポートします！

目標に合わせた最適なプランをご提案

1



まずは現場を見に来てほしい

現場視察 & 健康セミナー



身体の特任家が作業現場を視察し
動作指導や環境改善のアドバイスを行います。

● 現場視察

理学療法士が視察し、動作・環境改善指導を行う
例）・重物の持ち方指導
・転倒危険性の高い場所を特定
・適切な環境を提案

● 健康セミナー

痛みや転倒に特化したセミナーを開催
御社のニーズに沿った内容をお伝えします。



2



従業員の身体的リスクを知りたい

運動健診



健康診断ではわからない「運動機能」を測定
現在の従業員さまの心身状況を調査します。

● 問診（痛み評価、ストレスチェック）

● 握力

● バランス能力

● 身体の柔軟性

● 筋力（主に下半身）

● 検診結果

社員が抱える身体的リスクを把握できます。



目標例：職場の健康意識を高め、怪我の予防につなげたい！

STEP 01 現場視察

現場の労働環境をチェックしながら、従業員さまにヒアリングを行います。

STEP 02 運動健診

従業員さまのヒアリング結果をもとに、必要な運動機能の測定を行います。

STEP 03 データ分析

現場視察やヒアリング、運動健診の結果を分析し、御社の「課題」を特定。

STEP 04 健康セミナー

御社に必要な内容をお伝えし、従業員さまの健康意識を高めます。

3



痛みを抱えている従業員をケアしてほしい

個別 コンディショニング



従業員さま1人1人に合わせたストレッチや
運動機能を高めるトレーニングを実施します。

● ストレッチ

● 筋力トレーニング

● バランストレーニング など

● 職場でパーソナルトレーニング & メンテナンス

欠勤せず、働きながら心身のケアが可能
福利厚生にもご活用ください。



4



会社全体で怪我の予防をしたい

集団 コンディショニング



従業員さま全体に向けた集団体操
就業前後に従業員さまの健康増進を図ります。

● ストレッチ（上半身・下半身）

● 筋力トレーニング（スクワット、片足立ちなど）

● 姿勢指導

● 部署ごとにオーダーメイドも提供可能

個別では時間がとれない企業さまにおすすめです。



STEP 05 集団コンディショニング

御社に合った集団体操をご提案。
従業員さまの健康増進を図ります。その後、一定期間継続。

STEP 06 効果測定

「集団コンディショニング」を一定期間行った後に、再び「運動健診」で効果を測定。

STEP 07 データ分析

プラン導入前後を比較して、効果を分析します。

STEP 08 結果ご報告

導入後の効果をご報告。
今後のプランについてもご提案いたします。

当院の産業リハビリが

2つの予防に特化する理由

1 痛み（慢性痛）の予防



2 転倒の予防



2つの予防に重点を置く理由は、働く人が抱える悩みや、怪我の主な原因がこのなかに含まれているからです。

私たちの産業リハビリテーションは、この2つに重点をおきながら、従業員さまの「健康管理」と「労働環境の改善」を図ります。

導入までの流れ

お客様のご要望に合わせた完全オーダーメイドのプランをご提案するため、以下の流れで導入までご案内いたします。お提案内容と従業員規模に応じて料金が異なりますので、まずはお気軽にご相談ください。

STEP 01 お問い合わせ

まずはお電話かメールでお問合せください。詳しい内容をご案内いたします。

STEP 02 ヒアリング

お客様の現状や課題をヒアリング。打ち合わせの日時について調整いたします。

STEP 03 プランご提案

お客様の課題やお悩みに対して最適なプランをご提案いたします。

STEP 04 契約・利用開始

契約書のご記入・ご入金をもって利用開始。導入から運用まで専任の担当者が継続的にサポート。

STEP 05 フォローアップ

経過観察を行い、必要に応じて継続やお客様に最適な内容をご提案いたします。

よくあるご質問

Q. どんな企業が産業リハビリテーションを取り入れていますか？

欧米などの企業では一般的ですが、近年日本でも健康づくりに取り組んでいる企業は導入されています。

Q. 予算があるので出来るだけ料金を抑えたいのですが・・・

初回はトライアル期間がございます。さらに補助金制度の活用により、コストを抑えたご提案も可能です。

Q. 「運動健診」で身体運動機能の測定をする時期はいつですか？

測定する時期はいつでも大丈夫です。御社の健康診断と同じタイミングで行うこともできます。

Q. 契約をしたいのですが、スケジュールは自由に組めますか？

ご要望に応じた期間で導入計画を作成できますが、短期間（数ヶ月）では効果が出にくいので、初回の導入期間は「1年」を基本に年間計画を立てることをお勧めしております。

Q. 産業医の契約はできますか？

はい。当院長は産業医資格を有し、30年以上の豊富な経験を活かしてサポートいたします。

産業リハビリテーションに関するご相談・お問合せ



080 - 8217 - 6644

まずはお気軽にご相談ください
平日 9:00 - 19:00 担当：宮本



お問合せフォーム

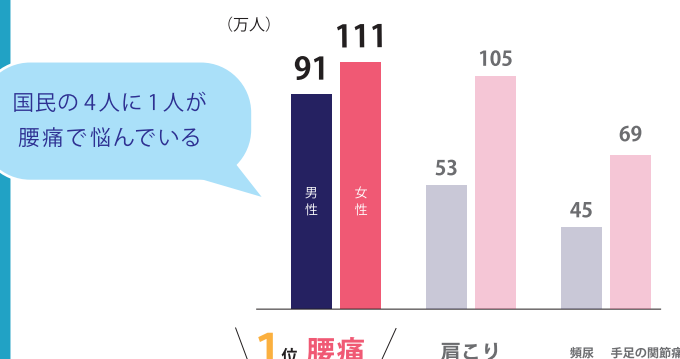
こちらの QR コードからアクセス →



Point 01 なぜ？ 痛み（慢性痛）の予防なの!?

心身不調の原因 TOP 3

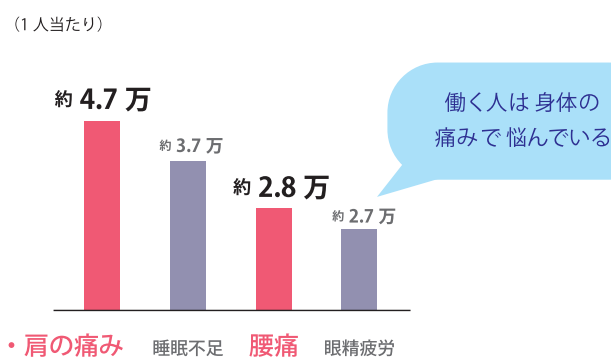
男女ともに腰痛が1位



出所：厚生労働省「令和4年国民生活基礎調査の概要」を基に作成

痛みと生産性の関係

痛みによって約5万円/人の損失

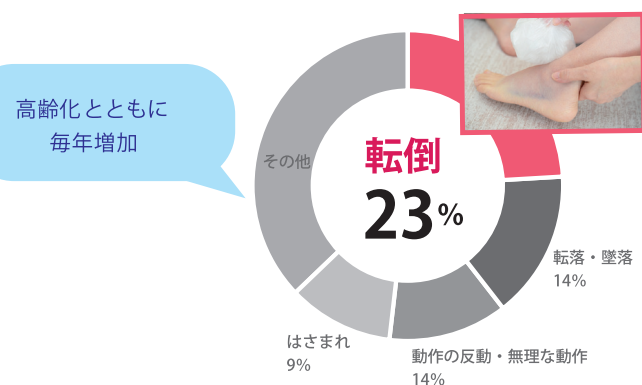


出所：産業医科大学 永田智久氏の執筆論文よりバックテックが作成した資料を基に作成

Point 02 なぜ？ 転倒の予防なの!?

労働災害の発生状況

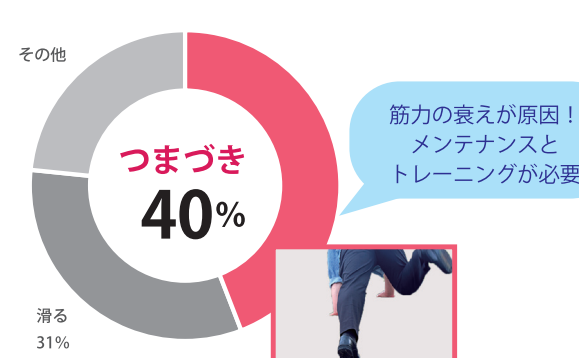
転倒が1位



出所：厚生労働省「令和3年労働災害発生状況」、「令和3年人口動態統計」を基に作成

転倒の要因

つまづきが1位



出所：厚生労働省・都道府県労働局・労働基準監督「署労働者の転倒災害（業務中の転倒による重傷）を防止しよう」資料を基に作成（2023）